



《梅雨晴の濱通り》[香川県丸亀市] 制作年不詳

津々浦々の  
きらめき

# 民家と 向井潤吉の描く

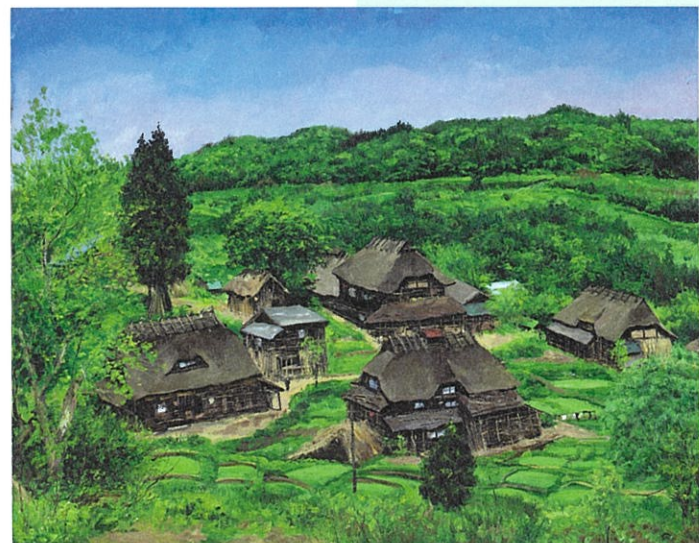
# 自然美

2023  
10.7 | 土 |

2024  
3.10 | 日 |



《不詳》[長野県更埴市森区] 1961年頃



《聚落》[山形県東田川郡朝日村田麦俣] 1966年



《北端の村》[青森県下北郡東通村灰屋、灰屋俣入口] 1962年

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、10月9日(月・祝)、1月8日(月・祝)、2月12日(月・振替休日)は開館、10月10日(火)、1月9日(火)、2月13日(火)は休館、年末年始(12月29日~1月3日) 観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) \*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日は無料 \* [ ]内の地名の表記は、制作時の記録等に基づきます。

世田谷美術館分館  
向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581 <http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>

向井潤吉の描く

# 民家と

# 自然美

津々浦々の  
きらめき



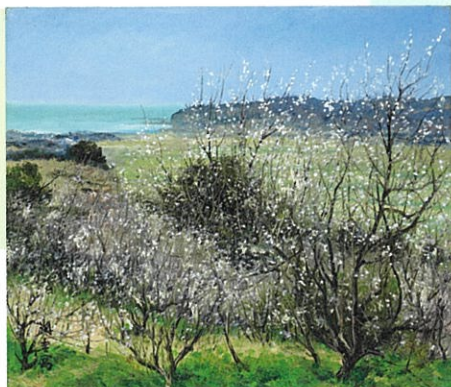
《エレース・フルマンと二児》(ルーベンスの模写) 1929年



《奥能登の海》[石川県輪島市曾々木海岸] 1962年頃



《古壁の秋》[奈良県奈良市高畑町福井、奈良新薬師寺近く] 1971年



《海に見える梅林》[和歌山県日高郡南部町] 1968年

草屋根民家のたたずむ風景に美を見出し、これを描くことに戦後40年にわたり半生をささげた洋画家・向井潤吉(1901-1995)。

地図を携え、絵画道具を背に民家をもとめて旅をつづけるなか、津々浦々のきらめくように美しい景観が、時に向井の目の前に広がりました。奈良の古道や和歌山の梅林、北陸の白波が打ち寄せる日本海——。画家は思いがけない風景との出会いに思わず足をとめ、心躍らせながら絵筆を握ったことでしょう。

本展では、こうした向井が旅先でとらえた日本の豊かな自然風景を、各地の特徴的な民家の姿を織り交ぜてご紹介します。

また、小コーナーでは、前回展示に引き続き、若き日の向井の滞欧時代を特集します。1927年から30年にかけてパリに渡った向井は、同時代の美術の潮流にふれるとともに、ルーヴル美術館に日参し、21点もの名画の模写を手がけました。このうち現存が確認できている8点すべてが現在、世田谷美術館に所蔵や寄託となって保管されています。今期は、前回ご紹介したクールベ、ミレー、コロドーに代えて、デュラー、ルーベンスなどの模写作品を展示します。戦後の民家シリーズとあわせて、どうぞお楽しみください。

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukajunkichi-annex.jp/>

【交通案内】  
◎東急田園都市線「駒沢大学」駅西口 徒歩10分  
◎東急世田谷線「松陰神社前」駅 徒歩17分  
◎東急バス(渋05)渋谷駅～弦巻営業所「駒沢中学校」下車徒歩3分

Instagram  
日々更新しています!



画家の暮らしの息遣いを今に伝える館内や、四季折々に豊かな表情を見せる庭など、向井館の日々の様子をご紹介しますほか、ミュージアムグッズなどの情報もお届けしています。



撮影:上野和宏

## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>

開館20周年記念 清川泰次のすべて  
2023年10月7日(土)～2024年3月10日(日)



© 宮本和宏

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836  
<http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

PATTERNS and VARIATIONS 宮本三郎 絵画の変奏曲  
2023年10月7日(土)～2024年3月10日(日)



© 宮本和宏



## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayamuseum.or.jp/>  
【展覧会のご案内】  
TEL.050-5541-8600(ハローダイヤル)

同時開催展

企画展

ミュージアム  
コレクション

土方久功と柚木沙弥郎—— 熟き体験と創作の愉しみ  
倉俣史朗のデザイン—— 記憶のなかの小宇宙  
美術家たちの沿線物語 小田急線篇  
ミュージアムコレクションⅡ  
雑誌にみるカットの世界——「世界」(岩波書店)と「暮しの手帖」(暮しの手帖社)  
ミュージアムコレクションⅢ  
美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇

9月9日(土)～11月5日(日)  
11月18日(土)～2024年1月28日(日)  
2024年2月17日(土)～4月7日(日)  
8月5日(土)～11月19日(日)  
12月2日(土)～2024年4月7日(日)

※入館に際しては感染症予防のため手指消毒、検温にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。